

提言第7号 一般・療養病棟における非侵襲的陽圧換気（NPPV）及び
気管切開下陽圧換気（TPPV）に係る死亡事例の分析

事例7

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代の患者。呼吸不全の悪化で半年前から TPPV 管理。自発呼吸有。2 か月前にハイケアユニットから一般病棟に転入。
- ・ 主治医が訪室し全身チアノーゼ、心肺停止状態で発見。人工呼吸器は停止した状態で装着されていた。救命措置を実施し、一旦自己心拍再開するが、死亡。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。
- ・ 発見の約 30 分前、看護師は気道内の分泌物を吸引するため、アラーム音を止める目的で人工呼吸器の電源を操作した。
- ・ 生体情報モニタの使用無。